

ささえ愛

VOL. 047

発行 令和6年11月

発行元 坂井市福祉委員幹事会
(坂井市社会福祉協議会)

「ささえ愛」は、あなたの地域で活動する福祉委員に関する情報紙です

\\ 民生委員・児童委員についてのアンケート調査 //

令和6年7月～9月に開催した各地区福祉委員会時に「民生委員・児童委員に関するアンケート」を実施しました。今回はそのアンケート調査(276人回答)のなかで「民生委員・児童委員の役割をご存じですか」という項目の結果をご紹介します。

Q. 民生委員・児童委員の役割を知っていますか？ (276人回答)



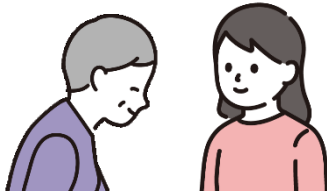
はい (275人)
99.6%



いいえ (1人)
0.4%

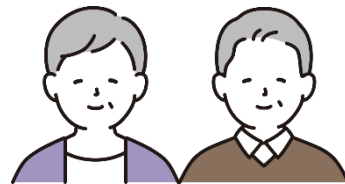
坂井市に176名

民生委員・児童委員の役割についてご紹介！



地域の見守り活動

地域の見守り活動を行いながら、一人ひとりと信頼関係を築くことを大切にしています。



訪問による安否確認・相談対応

高齢者や障がい者のご自宅を訪問し、安否確認・相談に応じています。



子どもからの相談対応

小中学校でのあいさつ運動、登下校中の声かけを行い、悩み事の相談にも応じています。



子育ての悩みのつなぎ

子育ての悩みや不安な気持ちに寄り添い、相談に応じています。必要に応じて関係機関に繋がっています。

参考：広報さかい(令和6年2月号)

その他のアンケート結果は坂井市社協 HP にて掲載しておりますので、ぜひご覧ください！

私は福祉委員となって今年で10年が経ち、見守り活動やサロン活動などを通じて、地域住民の方々との関わりを深めてきました。その活動の中で、私は「感謝されたい」という思いよりも、「人の力になりたい」という思いで活動しています。そして、みんなが笑顔になれるような存在「光」になれるよう、今後も活動を続けていきたいと考えています。



写真引用先：「Heart&Piece 想いがカタチに」(2019)

タイトル：能登へのボランティアに参加して

4月に2回、珠洲市でのボランティア活動に参加しました。福井県が直通バスを出しているので申し込んだが、当時「のと里山海道」は片側通行や通行不能の区間もあり、県立大学を4時45分頃出発し、着いたのは9時近かったかと思います。午前中は東山中という山間部で、午後は上戸という市街地で、それぞれの場所で瓦礫の積み込みと集積場への運搬を行いました。

当日の福井県チームは、福大生をはじめとする女性3人を含む老若男女20名ほど。何度も参加している人も多く、東日本大震災のボランティアに参加した人もいて、てきぱきした手際の良さに感嘆しました。若い人がかなり多かったのも意外でした。七尾市などに比べ、遠い珠洲市へのボランティアは少ないと聞きます。人手は全然足りず、復興に2年かかるだろうという声も聞かれました。6月には金沢市に開設された1.5次避難所(1次避難所は出たけれどいろいろな事情で仮設住宅やアパートへの2次避難ができない人たちが生活する)のお手伝いに行きました。ボランティアに参加したのは、福祉委員だからではなく、昨年11月に珠洲市へ旅行したからという個人的理由です。その時、泊った民宿も被災し、ご主人夫婦も避難されているということも聞いています。

そこにこの度の豪雨災害。県では引き続きボランティアバスを出しているようですが、まだお伺いする機会を持っていません。地元の方々の心境と現状を思うと言葉もできません。1日も早い復興を祈るばかりです。



各支部連絡先

- | | |
|---------|--------------|
| ■本部 | TEL: 68-5070 |
| ■みくに支部 | TEL: 82-1170 |
| ■まるおか支部 | TEL: 68-5060 |
| ■はるえ支部 | TEL: 51-4545 |
| ■さかい支部 | TEL: 67-0699 |

当情報紙は坂井市社協ホームページでもご覧いただけます



<http://www.sakaicityshakyo.jp/>